

YOUNG BUDDHIST ASSOCIATION MAGAZINE
<http://yba.hongwanji.or.jp>

no.144

makoto





makoto

no.144

THEME「ふるさと」

04…[エッセイ]ふるさと
/ text&photo：日下賢裕

05…ふるさと探訪
福井編 / text&photo：藤井恵昭
福岡編 / text&photo：藤 真哉

08…[連載] ^{ひこく}彼國の便り / text：大在 紀

09…[コラム] 僕らの住む街。
/ text&photo：上高原直樹

[全国真宗青年の集い神戸大会レビュー]
12… 当来～次の未来へ / text：中山真理子

14…告知

15…編集後記

ふるさとの山に向ひて

言ふことなし

ふるさとの山はありがたきかな

(石川啄木『一握の砂』より)



「ふるさと」 text&photo 日下賢裕

夏、新潟県のある地域へと旅に出た。そこにあつた風景は、山の斜面に沿うようにして作られた緑に茂る棚田、その周りにぼつぼつと建つ古い農家、陽の光をキラキラ反射させる小川。まさに「ふるさと」と呼ぶにふさわしい景色が、どこまでも広がっていた。

けれど、そこは私の生まれた土地でも、育つた土地でもない。私の本当の「ふるさと」ではないのだ。にもかかわらず、そのいかにも田舎的な風景に、私は自分の「ふるさと」以上の「ふるさと」を感じていた。あの感覚は一体なんなのだろうか。

私は今、自分が生まれ育つた町に住んでいる。学生時代は、県外に出て一人暮らしをしていたが、数年前に戻ってきた。故郷を離れて生活していたときは、実家はまさに「ふるさと」であった。けれども、そこに戻ってしまうと、普段自分が「ふるさと」に住んでいるという感覚はあまりない。周りを見渡せば、新潟で見た景色と、大して変わらない景色がそこにはあるのに、だ。

それはもしかすると、「ふるさと」と感じるものは私の心が生み出す、幻想のものだからなのかもしれない。けれど、その幻想に似た景色と遭遇したとき、私たちは懐かしさと、不思議な温もりと、安心のような感覚を覚える。だから、心のどこかで「ふるさと」を求め、懐かしさを感じる風景に出会った時、そこに「ふるさと」を感じるのだろう。

そして、心の中に「ふるさと」があるからこそ、私たちは現実に向かい、旅立っていけるのかもしれない。「ふるさと」は、「おかえり」と迎えてくれる場所でもあり、「行ってらっしゃい」と温かく見送ってくれるところでもあるのだから。

ふるさと探訪

… 福井編
… 福岡編

頑張った心と体を癒せる場所。
頑張っていないなくても、

ありのままの自分を認めてくれる場所。

そんな「ふるさと」が、
少しでも増えていきますように。

福井県

Information

県庁所在地・福井市

総人口・805,400人

(推計人口 平成二十二年八月)

総面積・4189.59km²

県の花・水仙

県の木・松

県の鳥・つぐみ

「福井」という名前の由来は、「福の居る場所」という意味で、江戸時代の少し前につけられました。そんな町の人々はとても温かく、穏やかに我慢強い人が多い土地柄です。

福井の食べ物の名物といえは「ソースカツ丼」と「越前そば」です。福井ではカツ丼は卵ではなくソース！だからカツ丼と注文したら「ソースカツ丼」がだされ、「卵とじカツ丼」と言わないと一般的なカツ丼は出てきません。「おろし蕎麦」は、辛めにおろした大根と出汁で食べる福井独特の食べ方です。その辛さは店によって様々で、ものすごく辛くて食べられないほどのお店もあります。

そして福井の名所と言えば、東尋坊。昔、東尋坊という僧侶が落とされたことから名前がついた恐ろしい名所。最近ではドラマの犯人逮捕の名所としても有名に。実は世界に三つだけの地質上極めて貴重な崖です。

その他に、蓮如上人の御旧跡である吉崎別院への参拝や、日本最古の天守閣をもつ丸岡城に訪れてみてはいかがでしょうか。福井は海の幸、山の幸、そして、数々の歴史や自然に囲まれた良いところです。

一度福井に来てみねの。待ってるぞ。



福岡県

information

県庁所在地・福岡市

総人口・5,070,200人

(推計人口 平成二十二年八月)

総面積・4,976.99 km²

県の花・梅

県の木・躑躅つづじ

県の鳥・うぐいす

私が住む街は福岡の天神という街です。天神は九州の中でも一番といってもいい程の都心部で、たくさんの方の発信地でもあります。北海道という札幌、東京というと渋谷、大阪という梅田や難波…それくらい都会なのです。

さらにこの街は食べ物がおいしいのです。とんこつラーメン、明太子、もつ鍋、もつ焼き、鉄なべ餃子、水炊き等、あげればキリがありません。過去に「お父さんが出張したい街・第一位」になったことがあるくらい人気がある街なのです。

そして福岡を代表する有名人の数々…武田鉄矢、タモリ、新庄剛志、小松政夫、森口博子、長谷川町子、赤川次郎などたくさんの方の有名人を輩出しています。

いい所づくしの福岡、じゃえび遊びにきてくんしゃい！

text&photo 藤 真哉





ひこく たよ 彼國の便り (八)

text 大在 紀 (仏教青年連盟指導講師)

あなたのふるさとはどこですか？

ふるさとして、決して生まれた所のことだけではないですよ。

祖父母のいるところや学生時代に住んでいた土地のことを「第二の故郷」と呼ぶ人もいます。あるいは、あこがれの土地のことを「心のふるさと」と呼んでいる人もいますね。ふるさとして、単に土地を指す言葉ではなくて、「なつかしい人のいるところ」や「思い出のつまったところ」のことなのかなと思います。

「ふるさとに」のあとに続く動詞は何ですか？

ふるさとには「いく」のではなく「かえる」と言います。数年前、お浄土に生まれることを「還浄^{げんじょう}」と表すことの是非について論争がありました。そのとき、初めて行くのに「かえる」という言葉を使うことが日常生活の中でもあることに気付きました。たとえば、母親が里帰り出産して、赤ちゃんを連れて実家から婚家に戻って来たときに、婚家の人は「おかえりなさい」と迎えます。「いらっしゃい」とは言わないですね。

初めて家に来た赤ちゃんを「おかえり」と迎えるのはなぜでしょう。親と一緒に来たからなのか、あるいは本来いるべき場所に来たからなのか。

阿弥陀如来という仏さまを「親さま」と呼ぶことがあります。「南無阿弥陀仏」のお念仏となって私に生涯寄り添い、いのち終わるときにはお浄土に生まれさせてくださるというのですから、浄土に生まれるときには、初めて行くかもしれないけれども南無阿弥陀仏の親さまとともに生まれることになります。初めてでも親と一緒にだから「かえる」という表現もOKなのかな、なんて考えていました。

あなたのかえるべきところ、本来いるべき場所はもう見つかっていますか？



僕らの住む街。

text & photo 上高原直樹



電車から降り、駅からでるといつもの景色が広がっていた。タクシー乗り場、商店街、居酒屋、お土産屋。しかしその多くは、店のシャッターが降りていたり、いつのまにか商店がなくなり空き地になっていたり、マンションができていたり、すっかり寂れてしまっている。しかし、この街も、一時はとても賑わっていたという。

このような寂れた状態になってしまったのは、昭和60年代を過ぎた頃からだという。それ以前は、この街にもたくさんの小さな商店街があふれ、賑わいを見せていた。当時と今を比較すると、やはり昔の小さい商店というものには、「人と人の繋がり」というものが強くあった。今の大きいスーパーなどにはあまり感じることはできないものだ。古き良き日本にあった「人と人の繋がり」というものは、とても大事な文化であるはず。だから、この街にも「人と人の繋がり」をなんとかもう一度取り戻せないかと、色褪せてはいるが、かつての名残をとどめる街並みを見るたびに考える。



その手がかりは、今注目されている「スローライフ」というライフスタイルにあるのではないだろうか。無理に小さな街などを都会化するのではなく、今その街にあるものを使って「まちづくり」をしていくこと。それが街にとっても負担も少なく、なおかつ街に住んでいる人たち自身で出来る取り組みではないだろうか。例えば、郊外的大型ショッピングセンターの利用を少し減らして、身近にある商店街での買い物をすることや、街の行事への積極的な参加。小さくとも自分達でできる「まちづくり」を見つけて、自発的に活動を起こしていくことの積み重ねが、大きな意味を持つてくるはずだ。

今回自分の住んでいる街を見直すことで、自分の知らない良さに気づくことができ、この街に住んでいて良かった、好きになったということを改めて感じた。自分の住んでいる街を違う角度から見ること。それによって毎日の生活がちょっとだけ楽しくなるのかもしれない。



future
当来～次の未来へ

text 中山真理子

2010年、夏、神戸。

その時は続々と、別院本堂に集まる参加者を見つめていた。スタッフとして参加するご縁をいただいたこの近畿大会。当日とそれまでの期間は私にとって、ひたすら期待と高揚感が織り交ざった時間だった。

大会は「みなと街さんぽ」「交流会」「しゃべれ場」など盛りだくさんのプログラム。今回はその中でも、「親鸞聖人750回大遠忌お待ち受け法要」についてお話ししたい。法要では、参加者と同年代の仏青会員が法衣をまとうて出勤に臨んだ。また、参加者に事前に配布された法要の経本には、散華用の華葩（蓮の花弁をかたどったもの）が挟みこまれ、参加者全員にも散華を体験してもらった。内陣だけでなく本堂でも華葩が舞う中、雅楽と伴奏、そしてその場の全員の声が一いつになる。神戸別院の本堂の中に少しの間、日常から切り離された厳かな異空間が出来たようだった。限られた時間の中で、約1時間にも及ぶ法要をお勤めしようと決まったのは、大会準備がはじまってすぐのことだったと思う。せっかくの別院開催で、来年本山大遠忌法要が勤まる今年だからこそ、しっかりとお勤めしたい、と全員が納得して決定した。何より、参加者に宗祖讃仰作法を身近に感じてほしい、来年もまた、共に本山にお参りするご縁としてもらいたいと願いをこめた。



本堂の天井からも華葩が舞う。



ウォークラリーの作戦会議中!

実行委員長は閉会式で次のように話す。
「お勤め中、参加者の中から赤ちゃんの声がかきこえた。私たちの次の世代の人が共にお参りをしてくれていることを感じ、とても嬉しく思った。」
今年のテーマは、『FUTURE』

未来へつながっていくのちに気づき、未来へ伝えていきたいみ教えを考える。そのような大会になったのではないだろうか。
今日が明日になるように、未来は今になつていく。来年の記念大会はもう目前。再び、次の「FUTURE」へ思いをはせる毎日になりそうだ。



ポートタワー前でミッションクリア!



南京町をぶらぶら。



Information

* 20 歳になったら京都に行こう *

～ 本山成人式、2011 年 1 月 9 日 (日) 開催～

来年も、京都、西本願寺において成人式が開催されます。

今回で 59 回目をむかえる本山成人式は、2011 年 1 月 9 日 (日)、本願寺阿弥陀堂にて執り行われます。参加対象は、「1990(平成 2) 年 4 月 2 日から 1991(平成 3) 年 4 月 1 日までの間に生まれた新成人」です。歴史ある京都のお寺で、素敵な成人式をむかえられた後は、楽しい祝宴もご用意。仏教青年連盟もお手伝いさせていただきますので、皆様のご参加をこころよりお待ちしております。

12:15	受付開始	15:00	記念撮影
13:00	帰敬式	15:10	成人式
13:30	オリエンテーション	16:00	記念講演
14:00	御正忌報恩講法要参拝	16:30	祝宴(18:00 終了予定)

申込・お問い合わせは下記まで。

浄土真宗本願寺派 組織教化部(本山成人式係)

TEL075-371-5181(代)

* ダーナ募金のご案内 *

～ させていただいて、ありがとう～

「ダーナ」とは、仏教語で「布施」(施し)を意味し、お互いに支えあい、思いやることをあらわしています。

私たち仏教青年連盟では、「ダーナ献金」を設置し、国内外災害地への義援金、宗派「たすけあい運動募金」、各種 NPO への寄付、(財)ユニセフ協会への献金を通して、現代社会における諸問題に対して積極的に取り組みを進めています。

ともに、この「ダーナ」のこころを伝えていきませんか？

仏教青年連盟では、皆様よりの献金を受付させていただいております。

お問い合わせは下記まで。

浄土真宗本願寺派 仏教青年連盟事務局まで

TEL075-371-5181(代)

STAFF VOICE 編集後記

藤井恵昭

取材と称して、東尋坊では七ヶ月の娘と一緒に遊覧船に乗ってきました。思いのほか揺れる船内で、乗り物酔いに苦しむ大人をよそ目に大はしゃぎの娘に、思わずシャッターを！！ほぼ、娘の写真でメモリーがうまりました・

日下賢裕

まさか、この「まこと」の編集長になるとは思いませんでした。しかし今まで経験にないことに携われるのも何かの縁。せっかくやるなら何事も楽しまなきゃ損！ってことで、2年間、「まこと」発行に尽力したいと思います。先代の仕事に負けられないように、センスを磨け！！

中山真理子

振り返ることの重要性を感じた今回。やりっぱなしでなく、そこから反省点を見つけて次につなげることが重要なんだ。近畿大会、本当に幸せでした。委員・スタッフの皆さんに心から感謝。来年は本山。全国の皆さん、力を貸してください。中央、がんばってます。さて、「まこと」さんとのお付き合いも3年目。皆さまよろしくです。

宮崎寿洋

最近、電車に乗りながらアガサ・クリスティの『オリエンタル急行』を読んでいます。周囲の人が個性的に見えてくるじゃありませんか。口調や動作で出身や性格を推理しようとしたが、さすがにポアロみたいに上手いきません。だけど、そんな私でもこれだけは断言できます。その電車の中に犯人はいませんでした。

上高原直樹

いろいろ大変でしたが…それとなく楽しかったです！

今後も精一杯がんばりたいと思います。

makoto no.144

浄土真宗本願寺派 仏教青年連盟機関誌 2010年11月25日発行 印刷：ヨシタ印刷株式会社
編集/発行：仏教青年連盟 広報委員会 〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派 宗務所内 TEL：075-371-5181(代)



アナタとワタシを数珠つなぎ。

nenju-Strap

お念珠型ストラップ
全10色

各 550円(一般価格) / 500円(連盟価格)*

*連盟価格とは、仏教青年連盟に加盟されている方の価格です。

お問い合わせ：浄土真宗本願寺派 仏教青年連盟 教材委員会
TEL：075-371-5181(代) yba@hongwanji.or.jp